

3年に1度の雄姿 流鏝馬 (やぶさめ) 祭り

1月19日、ときがわ町の萩日吉神社で県指定無形民俗文化財の流鏝馬が行われました。この祭りは、木曾義仲の家臣と伝えられる大河郷(小川町腰越)の4氏と明覚郷(ときがわ町)の3氏が、天福元年(1233年)に奉納したのが始まりと伝えられています。

大河郷では、早朝に今回の当番小林家を出発、大河橋付近で日吉山王分社に向かい矢を放ったり、各氏神などに対してヒキメ(「神の的」とよばれる小さな矢の先を3度あてる)を行いながら、松郷峠を越えました。

馬場を駆け抜ける「朝まとう」や矢を放つ「夕まとう」では、騎馬の雄姿や矢取りっ子の愛らしい姿に多くの観客が魅了されました。

流鏝馬は、県内の指定無形民俗文化財としては現在2件しか伝えられていない貴重なものです。萩日吉神社の流鏝馬は3年に一度行われており、次回開催は令和5年1月の予定です。

問合せ 生涯学習課 文化財担当 ☎ 291



食育の日給食⑨

1月の食育の日給食の食材は『長ねぎ』でした。小川保育園では「ねぎ入りお好み焼き」、町立保育園では「納豆のかき揚げ」、学校給食センターでは「小川町葱たっぷりビビンバ」と、冬が旬の長ねぎは加熱すると甘みが増して、お子さんでも美味しく食べられます。ただし、小さいお子さんはまだかみ切ることが難しいので、食べやすいように崩してあげるとフォークでさしたり、手づかみで上手に食べることができます。

関東では、ねぎといえば「長ねぎ」、関西以南では「青ねぎ」が一般的です。どちらも緑色の部分にはβ-カロテン、ビタミンC、カリウムなどの栄養素を、白い部分にはネギ類特有の強い香り成分である硫化アリルを多く含んでいます。この匂いには胃酸の分泌を促し、消化促進の働きもあります。硫化アリルは水溶性なので、鍋物や汁物など溶け出した成分も一緒に摂れるような工夫をしましょう。

みんなの元気は地元野菜から

～味わおう！食育の日にこの野菜～



小川町マスコットキャラクター 星夢ちゃん

♪今月の食材は「長ねぎ」♪



いつものお好み焼きに『長ねぎ』をプラス！とっても美味しかったよ！

「槻川をきれいにする会」が合同監視および河川美化清掃を実施しました

1月24日に「槻川をきれいにする会」が槻川流域の合同監視とあわせ、清掃活動を行いました。この会は、小川町・嵐山町・東秩父村の団体・流域住民等で構成され、河川環境保全のために2町1村の槻川流域で年2回の清掃活動や水質汚濁防止法に基づく活動等を行っています。今回の清掃では、金属を中心に約300kgのごみを回収しました。



下小川一区 「花かき」と「だんご飾り」で高齢者見守り

1月13日、昔からの小正月の行事である「花かき」と「だんご飾り」作りを地域の青壮年会(男性)とレディースクラブ(女性)が協力して行いました。

材料は、今では希少な「にわとこ」「みず木」の木をつかいます。にわとこで「花かき」をする人、「だんご飾り」用のきれいな紅色のみず木を整える人、紅白のだんごを作る人、かまどでだんごを蒸す人等、手際よく進めてそれぞれで70組作りしました。

「花かき」の始まりは、花の少ない正月に、にわとこの木を花が開いたように削って花に見立て飾ったと聞いています。

みんなで「花かきの花」「だんご飾り」を地域の75歳以上の全家庭に差し上げ「今年も元気にお過ごしください」と声かけをしてきました。20年続く、高齢者を見守り、地域の絆を深めるこの行事を、みんなで協力して続けていきたいと思っています。



下小川一区青壮年会・レディースクラブ寄稿

～いつも笑顔で小川町老人クラブ連合会から～

令和時代初めての新年研修会を盛大に開催

1月31日、来賓に松本町長、大戸議長、小久保県議、小川警察署二宮生活安全課長を迎え、第一部として「介護保険の基本」と題して、地域包括支援センター職員井上・中澤両氏による講演会を開催いたしました。第二部として、年初めの新年懇親会を54名の会員で行い、お互いの健康を誓い、和やかな時間を過ごしました。

小川地区老人クラブ連合会 会長 関口修さん寄稿



文化財を守ろう！文化財防火訓練実施

1月25日、下里地内の大聖寺で、文化財防火デーにちなんだ防火訓練が実施されました。下里地区をはじめとする地域の皆さんも多数参加し、水消火器による初期消火訓練や、消防署・消防団による放水、防災ヘリコプターによる上空からの消火活動訓練が行われました。また、住宅火災警報器の説明もあわせて行われ、家庭での防災への理解が深められました。

所有者や地域が一体となって、昔から大切に受け継がれてきた文化財を守りましょう。

問合せ 生涯学習課 文化財担当 ☎ 292

